

排水ポンプ車運転講習の実施(地方公共団体職員向け)

資料3-1

➤ 関係機関が連携した水害に対する事前準備の取組の一環で、地方公共団体職員を対象とした災害対策用機械の中でも排水ポンプ車操作に特化した講習・訓練を行いました。

- 日時: 令和2年9月29日、30日 10:30~16:30 (90分の講習を6回)
- 開催場所: 大師河原防災ステーション
- 講習内容
 - ①災害対策用機械の派遣方法について
 - ②京浜河川事務所 移動式排水設備貸付について
 - ③排水ポンプ車、移動式排水設備の設置・展開等、実機を用いた訓練
- 参加者: 地方公共団体 14団体 83名



排水訓練の状況

●講習対象機械:

<p>排水ポンプ車 (30m³/min)</p>	<p>排水ポンプパッケージ (10m³/min)</p>	<p>小型移動式排水設備 (2.5m³/min)</p>

排水ポンプ車とは、台風や梅雨等の大雨等により発生した浸水被害の拡大防止及び早期復旧を行うことを目的とした車両です。
人力で持ち運べる小型の特殊ポンプを始め、排水ホース・操作制御盤・発電機等排水作業に必要な機器を全て搭載し災害発生時にはすぐ出動し、迅速な排水作業をします。

(出典:パンフレット「災害発生時における自治体支援~関東地方整備局の取り組み~」
<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai00000203.pdf>)